

一級河川名取川水系 大倉川 大倉ダムの効果(平成28年8月22日)【速報】

宮城県

○大倉ダムでは、平成28年8月22日に、台風11号に伴う大雨により、**流域平均の累計雨量が102mm、最大時間雨量では27mmを記録しました。**これによるダムへの最大流入量は、計画1,200m³/sに対し、**235.75m³/sを記録しました。**

○今回の洪水調節により**最大流入時の75.1%(177.16m³/s)を貯留し、**下流河川の水位上昇を軽減しております。

ダムの位置図



大倉ダムの洪水調節実績

・洪水調節 開始	22日 20時 10分	終了	22日 23時 50分
・ダム流域累計雨量	102 mm	(22日 15時 ~ 23日 3時)	
・最大時間雨量	27 mm	(22日 20時 ~ 22日 21時)	
・ダムへの最大流入量	235.75 m ³ /s	(22日 22時 10分)	
・最大流入時の放流量	58.59 m ³ /s		
・ダムによる最大調節量	177.16 m ³ /s	(約 75.1%)	

ダムの状況写真



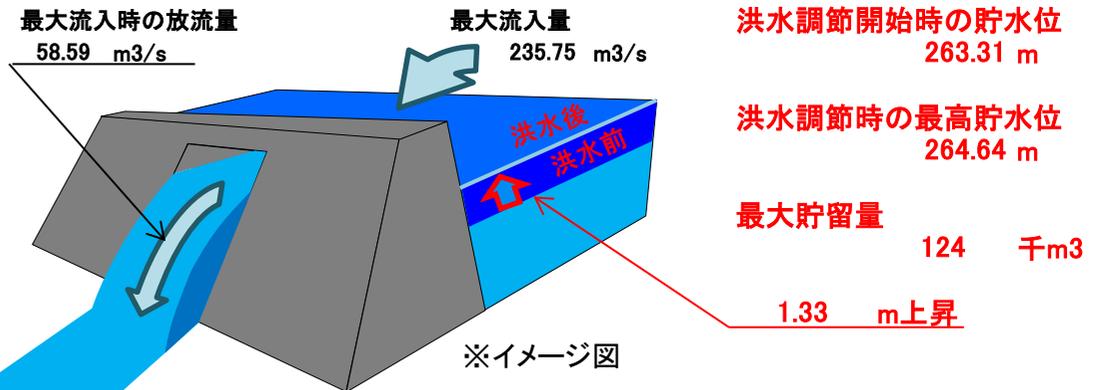
(洪水前 8月22日 17時10分)



(洪水後 8月23日 14時00分)

大倉ダムによる調節量

最大流入時に、流入量の 75.1% をダムに貯留しました。



○大倉ダムの洪水調節等により、**白沢地点で約0.70m**、広瀬橋地点で、水位を**約0.46m低減させる効果**があったものと推測され、ダムの効果により、河川が氾濫する危険が軽減されました。

下流河川の状況写真

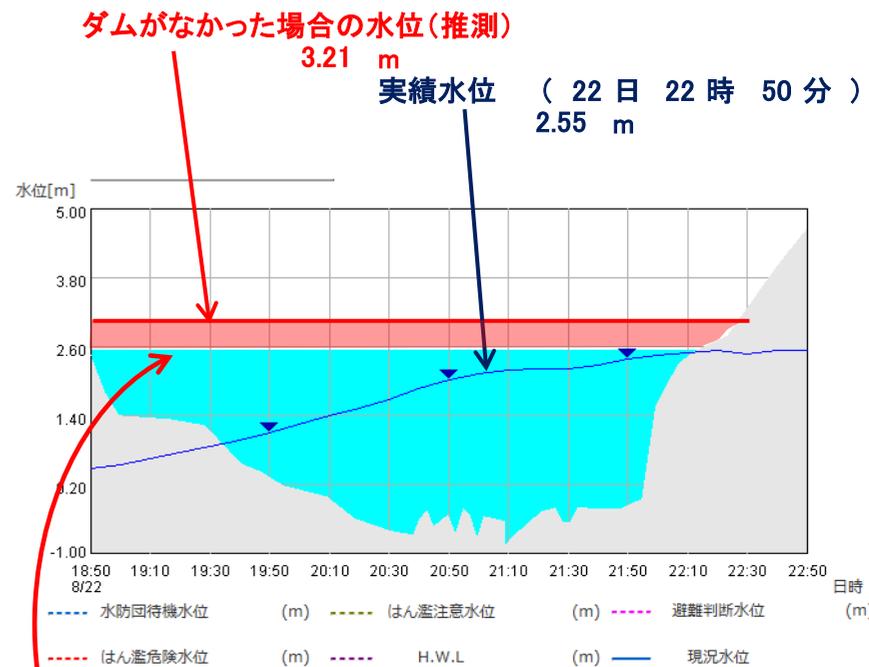


白沢水位観測所(洪水前 8月22日 13時50分)



白沢水位観測所(洪水後 8月23日 9時40分)

広瀬川(白沢地点)の水位低減効果



青色の実線は、水位の時間変化を表しています。
水色の水面は、現在表示している観測時刻の水位を表しています。

**ダムにより約0.70mの
水位低減効果を推測**